（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野ほうきプロジェクト事業
事業主体 （連絡先）	安曇野ほうきプロジェクト 〒399-8303　安曇野市穂高 5971 番１号
事業区分	（6）オ　その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,571,797 円（うち支援金：1,162,000 円）

事 業 内 容

安曇野市穂高有明地区において、遊休農地を活用して野生動物が食べないとされるホウキモロコシを栽培し、野生動物と人間の生活圏を区別する緩衝帯を形成する。また、当事業で栽培・収穫したホウキモロコシを使用して「安曇野ほうき」を製作する講習会を開催する。製作した安曇野ほうきを地域の特産品としてクラフトイベント等で販売する。

・ホウキモロコシ栽培、収穫作業　5 月～8 月
・ほうき製作講習会　9 月～12 月
・クラフトイベント　5 月～11 月

【　種まき　】　【　ほうき製作　】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①遊休農地を活用しホウキモロコシを栽培することで、野生動物の出没を抑制することに寄与することができた。効果：当栽培畑を対象とした農作物被害件数　令和 6 年度 0 件

②栽培から製作まで一貫して行うことで、参加者にほうき作りの難しさと楽しさを体験してもらうことが出来た。令和 6 年度体験講座参加者　目標：167 名→効果：154 名。参加者から来年度も参加したいという声が多数あり、夏場の作業内容を見直し新規に参加しやすくなるよう工夫する。

③クラフトイベントで安曇野ほうきを販売したところ、好評であった。安曇野の特産品として地域振興ができるよう、努力していく。令和 6 年度効果：販売本数 23 本、29,400 円。次年度はほうきの材料をさらに確保し、増産に取り組む。

【目標・ねらい】

①野生動物による農作物被害を抑制
②ホウキモロコシ栽培とほうき製作体験の実施
③特産品として地域振興を促す

※自己評価【　A　】

【理由】
・野生動物の出没を抑制することに寄与できた。
・ほうき講座の継続を望む声が多く届いた。
・安曇野ほうきを販売したところ好評であった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・来年度以降も同栽培畑においてホウキモロコシの栽培から収穫を行う。また、他地域でほうき作りを実践している団体と積極的に交流を持ち、伝統技術を習得・継承していく。
・安曇野市市民活動サポートセンターやＳＮＳを活用して、地域住民に活動情報を広く発信していく。
・活動を継続させるため、講習会参加者を中心に「安曇野ほうき」の周知と製作人材育成に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある